



**UNITED NATIONS
UNIVERSITY**

2007年2月22日
MR/J05/07

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国連機関 共同主催 国際女性の日 2007 公開フォーラムのご案内

イベント： 国際女性の日 2007 公開フォーラム

テーマ： 「女性と女兒への暴力に終止符を」

日時： 2007年3月8日（木） 14:00-18:00

場所： ウ・タント国際会議場（UNハウス 3階）

共同主催： 国連食糧農業機関 (FAO)、国際労働機関 (ILO)、国際通貨基金 (IMF)、国連人道問題調整事務所 (OCHA)、国連開発計画 (UNDP)、国連環境計画 (UNEP)、国連人口基金 (UNFPA)、国連ハビタット (国連人間居住計画: UN-HABITAT)、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)、国連広報センター (UNIC)、国連児童基金 (UNICEF)、国連訓練調査研究所 (UNITAR)、国連プロジェクト・サービス機関 (UNOPS)、国連大学 (UNU)、国連世界食糧計画 (WFP)、世界保健機関健康開発総合研究センター (WHO)、世界知的所有権機関 (WIPO)、世界銀行 (World Bank)

背景：

- 国連は、男女平等の原則の確立に寄与し、世界の女性の地位向上をめざした戦略、プログラム、及び、基準を築いてきた。
- 国連では1975年より3月8日を「国際女性の日」と定め、女性たちが、平等、安全や開発、組織への参加のための努力により、どこまで可能性を広げてきたかを確認すると同時に、今後のさらなる前進に向けて話し合う場として設けられた記念日としてきた。
- 明確なデータはまだまだ多くの国々で不足しているが、女性や女兒に対する暴力の問題は、グローバルな人権侵害問題として存在している。今年の「国際女性の日」では、女性や女兒に対する暴力が許されることのない、政治的、社会的環境の必要性について考える。

イベント詳細：

- 本フォーラムのオープニングは潘基文国連事務総長からのビデオメッセージ、森山眞弓衆議院議員による開会の挨拶を予定。
- シーラ・シスル WFP 国連世界食糧計画 事務局次長 (政策・機関間調整担当) 及び、坂東眞理子 昭和女子大学副学長、元内閣府男女共同参画局局长、による基調講演を予定。
- 基調講演に続き、村田俊一 国連開発計画 (UNDP) 駐日代表による司会のもとパネルディスカッションを予定。パネリスト：伊勢桃代 日本国連協会理事、アンドリュー・ホルバート 東京経済大学 客員教授、国際歴史和解研究所 客員研究員、ダグラス・ルミス 政治学者、ロニー・アレキサンダー 神戸大学大学院国際協力研究科教授、淡路愛 時事通信社 外信部、記者。
- 本フォーラムの司会は、久保純子、フリーアナウンサー。
- 日英の同時通訳があり。
- 当日のシンポジウムは下記ウェブキャスト (ライブ及び録画) でも閲覧可能。
<http://c3.unu.edu/unuvideo/?124>
- シンポジウムのプログラム詳細は<http://www.unu.edu/iwd/>まで。

取材ご希望の方は、国連大学広報部、担当：谷野（やの） (TEL:03-3499-1311 e-mail: media@unu.edu) までご連絡ください。



MEDIA ADVISORY